

授業科目名 (英文表記)	地域映像製作特論 ～地域の魅力を共有する映像のカタチ～ (Advanced theory of local film producing)		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	木川 剛志		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 6月15日(金) 18:30～20:50		
	第2回 6月16日(土) 10:00～16:00		
	第3回 7月6日(金) 18:30～20:50		
	第4回 7月7日(土) 10:00～16:00		
	第5回 7月20日(金) 18:30～20:50		
	第6回 7月21日(土) 10:00～16:00		

#### 【授業のねらい・概要】

地方創生、インバウンド、観光映像、地域映画。これらのキーワードはすでに一般的なものとなり、注目は年々と高まっている。その一方で地域の魅力は、きちんと世界に届いているだろうか。本当の魅力は、それに接している住民にはあまりにも身近すぎて、気づきにくい。このような“潜在的的魅力”が地域を比較不可能な魅力的な場所にする。本講義では、この潜在的魅力をどのように見つけるか、どう可視的なものとして届けるか。映像を主なツールとしてプロデュースのカタチを一緒に考える。

#### 【授業計画】

##### 第1回 「これまでの地方映画」

「男はつらいよ」「釣りバカ日誌」、昭和の映画は地方を舞台に物語を紡いできました。このような映画について議論しながら、地方とは何かをみんなで考えます。

##### 第2回 「現在の地方映画、地域映画」

「おくりびと」「この空の花」など、現在の映画にはこれまでとは違う、東京からみた地方ではない地方を描いたものも増えてきた。結果として海外から評価される映画はこのようなものである。このような映画について論じる。

##### 第3回 「短編自主映画・映画祭」

地方に住む人間が自分の周りの世界を描いた短編映画が、全国の様々な場所で開催されている映画祭で上映されている。そのような映画を紹介する。

##### 第4回 「短編自主映画の作り方」

講師がこれまでに作ってきた和歌山を舞台とした短編映画の制作背景を紹介する。その上で、プロット、台本の書き方を学ぶ。

##### 第5回 「映画演出」

宿題として受講者たちが執筆してきた台本を映画に仕上げる手法を学ぶ。

##### 第6回 「名作から学べること」

ここまでで学んだことが、実際の名作とよばれる映画にどのように現れているかを検証しながら、地域プロデュースのあり方について議論する。

#### 【到達目標】

地域で暗黙的に継承されている潜在的魅力を探索できる目を育成する。また、これらを表現するプロセスを理解し、実践的なプロデュースを学ぶ。

#### 【教科書】

なし。必要に応じて資料を配布します。

#### 【参考書】

なし。必要に応じて講義中に紹介します。

#### 【成績評価方法】

授業内での発表や提出物、グループ討論に対する姿勢などの学習状況をみて、総合的に判定します。

#### 【授業時間外学習】

自分で簡単な脚本を書いたり、地域の調べものをするなどの学習時間が必要です。

#### 【履修上の注意・メッセージ】

基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。